

活動日

年

月

日

記載者(所属・職名・職種)

◆配慮を要する者◆

	人数	うち要継続支援人数		人数	うち要継続支援人数		人数	うち要継続支援人数
高齢者(65歳以上)	人	人	障害者	人	人	服薬者	人	人
うち75歳以上	人	人	身体障害者	人	人	降圧薬	人	人
要介護認定者	人	人	知的障害者	人	人	糖尿病薬	人	人
妊婦	人	人	精神障害者	人	人	向精神薬	人	人
じょく婦	人	人	難病患者	人	人	他の治療薬	人	人
乳児	人	人	在宅酸素療法・呼吸器療法	人	人	その他	人	人
幼児・児童	人	人	透析(腹膜透析含む)	人	人	要継続支援合計人数(実人数)		人
うち障害児・医療的ケア児	人	人	アレルギー疾患	人	人			

特記事項

◆対応すべきニーズがある者◆ *まだ解決しておらず、速やかに対応しなければならないニーズがある避難者数を記載する。

	該当	特記事項(→左の欄のその内容、アセスメント等記載)
医療ニーズのある者	□無・□有 人	
うち医薬品がない者	□無・□有 (人)	

4

	該当	特記事項(→左の欄のその内容、アセスメント等記載)
保健福祉ニーズのある者	□無・□有 人	
高齢者	□無・□有 (人)	
障害者・児	□無・□有 (人)	
その他	□無・□有 (人)	
こころのケアが必要な者	□無・□有 (人)	

◆感染症・食中毒等症状がある者◆

	該当	特記事項(→左の欄のその内容、アセスメント等記載)
総数(実人数)	□無・□有 人	
発熱	□無・□有 (人)	
咳・痰	□無・□有 (人)	
下痢・嘔吐	□無・□有 (人)	

対応内容・結果

課題/申し送り

避難所日報の記載について

【避難所日報の目的】

被災自治体または支援の保健師等や保健医療福祉活動チームが、公衆衛生的立場から、①その避難所で必要な支援、②翌日以降のチームの活動方針・内容、③広域的な被災地対応、④今後予測される課題の検討等に活用する。

【記載するにあたっての留意点】

- 全ての項目を確実に聞き取って記載する必要はないが、自治体の指示を確認のうえ、前日までの情報等を参照し、太枠内を優先しながら情報収集を行う。
- 前日までの避難所日報、災害対策本部の情報、前任支援者からの申し送り、避難所の常駐保健医療支援者等からの情報を活用し、避難者及び避難所運営担当者に負担をかけないことに留意する。
- 既存の情報の転記に終始せず、避難者の生活の様子、衛生・設備環境なども含め、積極的に観察を行い、気になる方へは声をかけ、新たな課題が生じていないか確認する。
- 被災者の氏名等はこの日報に記載しないこととする。
- 個別支援を要するなどの理由により、個人情報の詳細に記載・報告する必要がある場合は、「被災者健康相談票」に記載する。
- 特記事項欄には、ニーズの種類、関係機関と調整して対応することが必要な事項、避難所の集団として検討すべき事項を中心に記載する。
- 内容は避難所管理者や支援者とも共有し、引き続き対応が必要な課題等について課題／申し送り欄へ記載し、確実に引継を行う。

【記入する際の参考】

避難所コード：市町村担当者等からの情報に基づき記載する。

◆配慮を要する者◆

- 人数：避難者カードに記載がある等、避難所運営担当者等が把握・報告している各項目の状態に当てはまる避難者数を記載する。複数の項目に重複して計上する。
- うち要継続支援人数：翌日の巡回チーム等が個別に状況確認・支援する必要がある避難者の人数を記載する。複数の該当する項目がある場合は、最も支援ニーズのある項目に入れる。◆対応すべきニーズがある者◆で「有」の人数も含む。

◆対応すべきニーズのある者◆

まだ解決しておらず、速やかに対応しなければならないニーズのある避難者数を記載する。引き継いだ際には、優先的に確認、対応することとする。

- 医療ニーズのある者：速やかに医療につなぐ必要がある者。ただし、適切な医療を受けている、又は受けられる状況にある者、状態が安定している者は含まない。
- 保健福祉ニーズのある者：福祉避難所への移動、専門職支援チーム等に速やかにつなぐ必要がある者。
- こころのケアが必要な者：悲哀、悲嘆が強く、不眠、引きこもりや過剰行動が見られるなど、専門的な支援が必要と思われる者。

【参考】

※避難所日報記載要領（災害時の保健活動推進マニュアル p.135-138）：https://www.jpha.or.jp/sub/pdf/20200420_honbun.pdf

※厚生労働行政推進調査事業費補助金分担研究報告書（避難所・在宅者等の情報把握・支援の検討）：

<https://mhlw-grants.niph.go.jp/project/28204>